

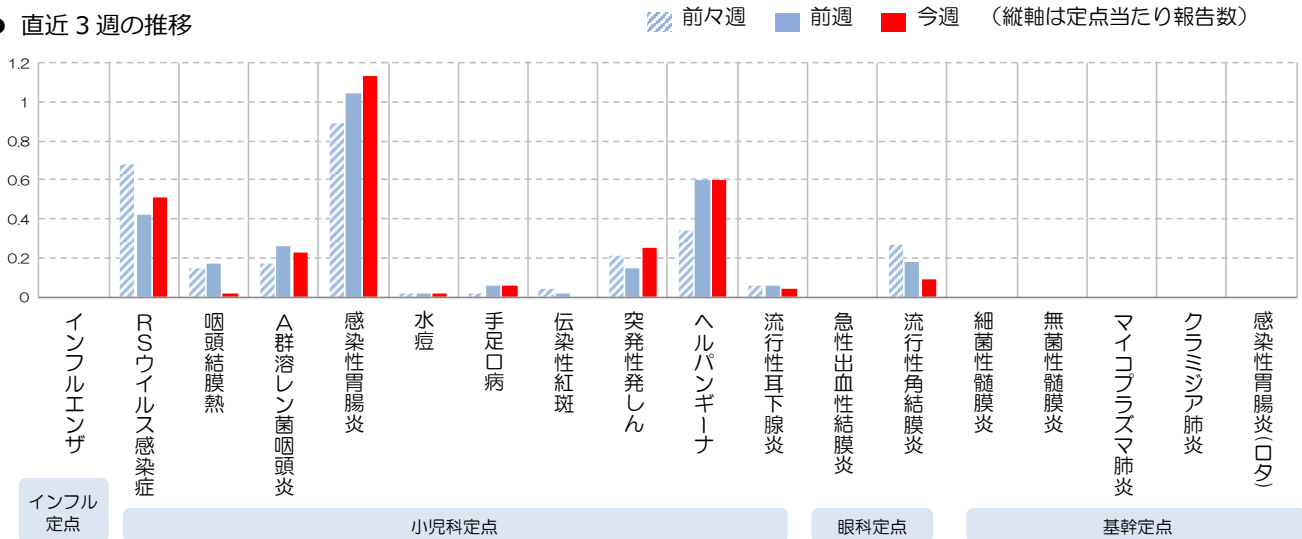
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症について、発生報告数に減少傾向がみられます。
- ヘルパンギーナについて、季節性の流行が続いています。
- RSウイルス感染症について、発生報告数に下げ止まりの傾向がみられます。

定点把握対象疾患

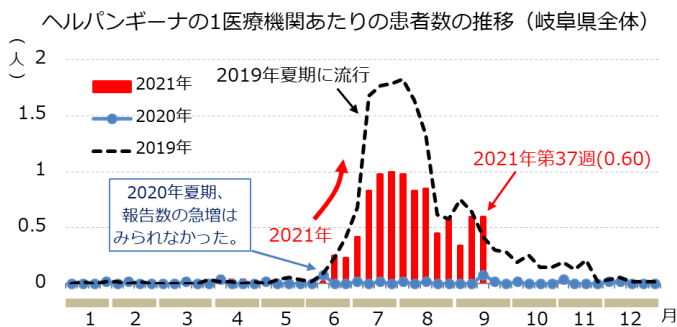
<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



トピック：ヘルパンギーナ

夏以降、岐阜県内でヘルパンギーナの流行が続いています。ヘルパンギーナは乳幼児を中心に夏季に流行する夏かぜの一種であり、小さいお子さんのいる家庭や保育所などではとくに注意が必要です。



予防のため石けんを使った手洗いと、アルコールによる手指の消毒をおこなひましょう。特にトイレの後や、お子さんのおむつ交換をした後は石けんで手を洗ひましょう。唾液のついたおもちゃなどは洗淨・消毒しましう。



全数把握対象疾患

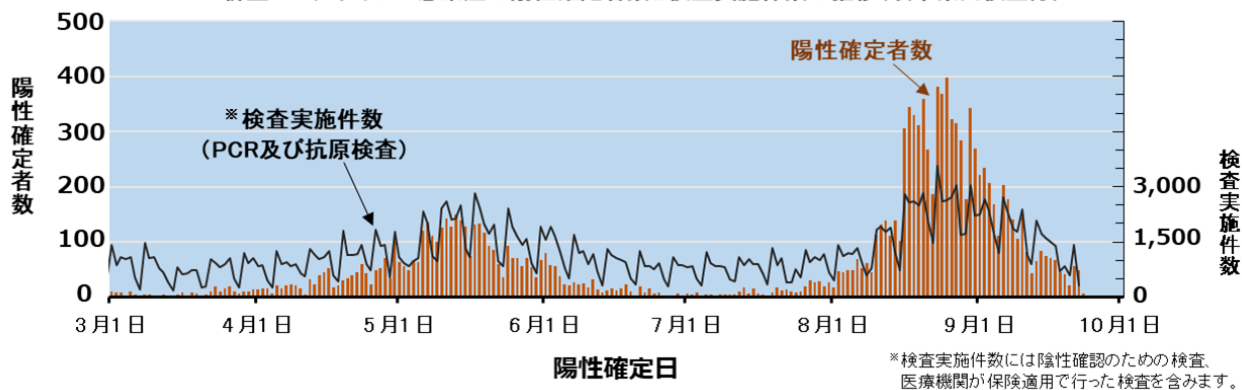
● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 8例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：レジオネラ症 2例
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、後天性免疫不全症候群 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 1例、梅毒 3例、破傷風 2例
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 449例 (9/13~9/19(陽性確定日による集計))

トピック：新型コロナウイルス感染症

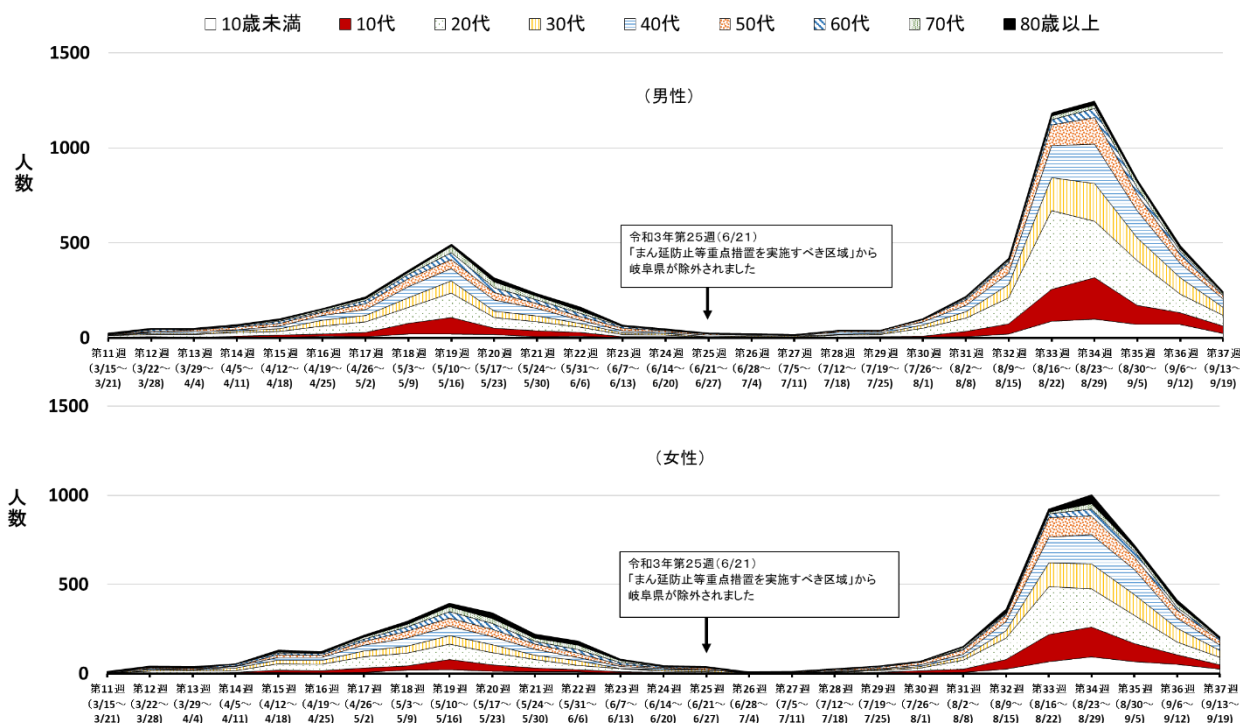
新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は18160人(県外居住者280人含む)となりました(令和3年9月23日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると次頁のようになります。

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



令和3年第37週の報告数は449人であり、先週の約半数に減少しました。この状態を継続させるため、岐阜県に発令中の「新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言」(9月30日まで)に伴う感染防止対策にご協力をお願いいたします。また密閉・密集・密接(3密)の条件を避けること、マスクを適切に着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往来や多人数での長時間に及ぶ会食を避け、体調が悪い時には外出を控えるなど、日常生活での感染対策にご協力をお願いいたします。

第4波後の岐阜県における陽性確定者発生の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

※厚生労働省が提供する新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、ウイルスの変異についての解説です。

・「(2021年9月版) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、マスクの着用を徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出を控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
2. 密集場所(多くの人が密集している)
3. 密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件(3密)を避けることが重要です。